

令和4年度 大隅地域子ども会育成連絡協議会

役員会・理事会

- 日 時 令和4年4月18日（月）18:30～20:00
- 場 所 大隅地域振興局 大会議室（別館2階）
- 出席者 役員会8人，理事会20人

- 1 開会のことば
- 2 会長あいさつ
- 3 協議（議長：副会長）
 - (1) 規約の改正について
 - (2) 役員の改選について
 - (3) 令和4年度総会に向けて
 - ア 令和3年度事業報告
 - イ 令和3年度決算報告
 - ウ 令和4年度事業計画（案）
 - エ 令和4年度予算（案）
 - オ 令和4年度各種表彰の推薦（案）について
 - カ その他
 - (ア) 大隅地域子ども会指導者・育成者研修会での事例発表及び表彰について
 - (イ) 各市町子連の子ども会大会・創作活動大会やジュニア・リーダー養成事業への助成金の希望調査について
 - (ウ) 県子ども会ジュニア・リーダー及び高校生クラブ等交流大会について
 - (エ) 第53回九州地区子ども会研究協議会（長崎大会）について
- 4 閉会のことば（副会長）



7月16日 指導者・育成者研修会の様子

総会（書面開催）

※ 5月6日（金）予定の総会は，書面開催とした。理由は，①理事会で全て原案どおり承認をいただいたこと，②規約第10条(5)「年度始めの総会は，第1回役員会・理事会に充てることができる。」を適用し，コロナ蔓延防止を考慮して，書面開催とすることで理事全員の承認をいただいたことによる。

指導者・育成者研修会

- 日 時 令和4年7月16日（土） 13:30～16:00
- 場 所 コミュニティセンター志布志市文化会館
- 参加者 27人

- 1 開会のあいさつ（会長）
- 2 個人表彰
今坂南子ども会育成会（鹿屋市）
中尾・赤野子ども会育成会（鹿屋市）
- 3 事例発表・質疑応答
 - (1) 事例発表Ⅰ 垂水市柊原校区子ども会育成会
 - (2) 事例発表Ⅱ 志布志市子ども会育成連絡協議会
 - (3) 質疑応答（意見交換を含む）
- 4 創作活動
 - (1) 主 題 「竹ばし作り」
 - (2) 指導者 県立青少年研修センター 研修課
課 長 ロノ町 亨 氏
研修主事 中村 幸一郎 氏
- 5 閉会のあいさつ（副会長）



会長あいさつ



事例発表

指導者・育成者研修会の様子

◇ 団体表彰及び個人表彰



今坂南子ども会育成会



中尾・赤野子ども会育成会

大隅地域子連より、左の2団体が表彰された。
今坂南子ども会育成会は、「子供が主体となる話合いに基づき新入生歓迎会を行い、環境美化活動やあいさつ運動など、地域振興にも貢献している。」ことが評価された。
中尾・赤野子ども会育成会は、「夏祭り等の地域行事や棒踊りの伝統文化継承への参加、地域の花壇の手入れの取組など地域の環境美化への貢献等」が評価された。

他に、以下の全国・九州表彰の団体・個人が紹介された。

- ① 令和2年度全国子連団体表彰
南大隅町 滑川（なめりかわ）子ども会育成会様
- ② 令和3年度全国子連個人表彰
南大隅町 柳川美敏（やなぎがわ みとし）様
- ③ 令和3年度九州子連個人表彰
曾於市 田中茂輝（たなか しげき）様

なお、以上の方々は、6月3日に開催された県子連定期総会の場において、表彰伝達がなされている。

◇ 事例発表



【垂水市終原校区子ども会育成会】

地域・学校・子ども会が一体となった結びつきの強さ、地域の見守り・支援が特長となっている。伝統行事「おろごめ」「かべうっくじい」など、年9回のイベントを中心とした活動を行っている。「おろごめ」は400年以上続く伝統行事で、現在は浜に穴を掘り、相撲のように組み合い、押し出し合うことで、勇壮に育つようにという願いを込めて行っている。「かべうっくじい」は、見えない壁を壊す意味や「邪を祓う」「豊作祈願」の祈りが込められている。コロナ禍でも、withコロナで柔軟に行事を行うようにした。伝統を大切にしつつ、時代の変化に柔軟に対応し、よりよい環境を作れるように、繋ぐ努力をしている。「どうやって実施するのか」を真剣に検討する姿に賞賛の声が多かった。



【志布志市子ども会育成連絡協議会】

志布志市子連では、①少子化の進行、核家族化、自治会未加入者の増加、②子ども会に入会・関心のある人の減少、③志布志市子ども会、単位子ども会とも、団体の数・会員数ともに減少しており、背景として、①行事の負担感、②会費や活動費の負担感、③活動内容への疑問、④活動できる人数が少ない等が挙げられている。解決のために、市子連では、①指導者研修会の開催、②助成金、③ふるさと美化活動への参加奨励、④子ども会交流推進事業の実施、⑤ジュニア・リーダー研修との連携や祭りパレードへの参加等を行っている。今後は、子どもと一緒に体験活動をすることで、大人も喜びや感動を実感し、深い学びに気付く取組を行っていく計画である。参加者からは、知恵を出し合っていくことが大切だという声が多かった。

◇ 創作活動（竹ばし作り）

「活動の導入、進め方、KYT、集中のさせ方など、子どもたちに体験させるときの進め方が参考になった。」「講師の話が分かりやすく、楽しく取り組めた。」「刃物の使い方を子どもたちに教える方法を考えて、創作活動をさせてやりたい。」「子どもたちの目線で竹はしを作れて、とても参考になった。」「出来上がったはしは不格好ですが、マイはしとして使いたい。」などの感想が多かった。

また、感染対策をしながら体験活動を1つ1つ行っていききたいという意見が多く出た。



令和4年度

大隅地域文化財保護審議会委員連絡協議会総会・研修会

〈総会〉

- 1 日 時 令和4年5月25日(水)
10時00分～10時40分
- 2 場 所 東串良町総合センター
- 3 参加者 53人
- 4 会次第
 - (1) 開会のことば
 - (2) あいさつ
 - (3) 議長選出
 - (4) 協 議
 - ア 令和3年度事業報告及び令和3年度決算・監査報告
 - イ 令和4年度事業計画(案)及び令和4年度予算(案)
 - ウ 令和4年度役員について
 - エ その他(情報交換を含む)
 - (5) 閉会のことば



総 会

〈研修会〉

- 1 日 時 令和4年5月25日(水)
10時50分～15時00分
- 2 場 所 東串良町総合センター，現地
- 3 参加者 57人
- 4 会次第
 - (1) 開会のことば
 - (2) 研修
 - ア 全体研修
「文化財保護行政の主要施策と文化財保護審議会委員の役割について」
講師 県教育庁文化財課 埋蔵文化財係 主任文化財主事兼係長 横手 浩二郎 氏
指定文化財係 文化財主事 坂口 崇一郎 氏
 - イ 現地研修
吉元の一石五輪，唐仁古墳群，安留のトーチカ
※ 密を避けるため参加者を3グループに分けて実施した。
 - (3) 閉会のことば



全体研修

現地研修の様子

現地研修では、東串良町文化財保護審議会委員が研修地ごとに説明を行った。



【安留のトーチカ】

＜説明：北園委員＞

第2次世界大戦時時に、アメリカ軍が計画していた「オリンピック作戦」への対抗策として、海岸線にトーチカを建設したことや当時の現地の様子などを熱心に説明していただいた。



【吉元の一石五輪塔】

＜説明：谷口委員・野口委員＞

昭和56年に東串良町指定記念物(史跡)に登録され、現在、町内で3基しか確認されていない五輪塔である。本来は各部分に分けて作製するが、文字どおり一つの石を削り出して作製したもの、という貴重な話をいただいた。



【史跡 唐仁古墳群】

＜説明：林委員＞

昭和9年に国指定記念物(史跡)に登録され、唐仁古墳群の築造時期や大きさなど、考古学的な知見や自身の出身地でもある唐仁について話をいただいた。

令和4年度大隅地区埋蔵文化財発掘調査現地研修会

○ 趣 旨

現在発掘調査中の遺構・遺物の出土状況や出土遺物を見学することにより、各市町文化財担当者や社会教育行政関係者、大隅地域文化財保護審議会委員等の研修の機会とする。

○ 日 時 令和4年10月25日(火) 13:30~16:00

※ 本研修会は隔年実施で令和3年度実施予定だったが、中止となったため3年ぶりの実施

○ 場 所 みょうずぼる名主原遺跡(鹿屋市吾平町下名) たちづか立塚遺跡(鹿屋市吾平町麓)

○ 説明者 ○ 文化財課 埋蔵文化財係 文化財主事 阿比留 士朗 氏

○ 県立埋蔵文化財センター 調査課第二調査係

文化財主事 今村 結記 氏【名主原遺跡】、山下 勘郎 氏【立塚遺跡】

○ 対象者 各市町教育委員会文化財担当者、各市町社会教育行政関係者、各市町文化財保護審議会委員、大隅教育事務所関係職員 等

○ 参加者数 53人

◇ 現地研修Ⅰ「名主原遺跡」 13:35~14:15

県道鹿屋吾平佐多線の改築に伴い、平成15~16年度は旧吾平町教委、令和4年度からは鹿児島県教委により調査が行われている。

平成15~16年度の調査成果から、古墳時代前期(約1,700年前)の花弁型住居など竪穴建物跡54基が検出されており、出土した石器群は、石包丁や製作用砥石、磨・敲石や磨製石鏃、打製土堀具を伴うことから、生業形態は、水田稲作、畑作、狩猟採集であるが、生業全体の中で水田稲作の比重が高まっていることが予想される。また、絵画土器出土も注目される。

古墳時代後期(約1,500年前)の地下式横穴墓が6基検出され、中から鉄剣や鉄刀、刀子といった鉄製品が出土している。周辺では完形の土器や須恵器が見つかっており、地下式横穴墓の供献土器と考えられている。

本年度から始まった現在調査中の箇所からは、紫ゴラ(西暦874年)を含む層から竪穴建物跡など遺物包含層が発掘され、土器などが発見されている。

◇ 現地研修Ⅱ「立塚遺跡」 14:50~15:30

鹿屋吾平佐多線(吾平道路)改築事業に伴い、令和2年度より4年度までの予定で、県立埋蔵文化財センターが調査を行っている。主な調査成果としては、縄文時代晩期から弥生時代前期にかけての石皿片又は礫を伴う遺構、大型



名主原遺跡出土品

立塚遺跡発掘調査と遺構（右）



打製石斧埋納土坑，性格不明の土坑等の遺構を検出した。遺物では，刻目突帯文土器や管玉，石包丁などの出土があった。縄文時代早期の石坂式土器，打製石鏃，縄文時代晩期から弥生時代前期の土器など，古代の溝跡・遺構や土師器・須恵器の破片，土師甕，墨書土器破片など見つっている。

- ◇ 情報交換等
各市町からの
事前質問（①～
④）に，講師の回
答があった。
- ①発掘調査で使
う座標と公共
測量の取扱い
- ②SNS等での
情報発信と公
開の在り方
- ③重機使用と賃
借料，法律の
解釈について
- ④民間事業者等
が開発行為な
どを行う際に，
当該箇所が埋
蔵文化財包蔵
地に含まれる
か否かの確認



立塚遺跡で見つかった墓とみられる土坑群。中央の環状に配置された穴がA群の土坑（鹿児島県埋蔵文化財センター提供・合成写真）

鹿屋・立塚遺跡で発見

弥生期の環状土坑群

国内初、縄文期特徴の墓か

鹿児島県埋蔵文化財センターは4日、鹿屋市吾平町立塚遺跡で、環状配置された墓とみられる弥生時代早期（約2800年前）の土坑群を発見したと発表した。土坑群を環状に配置するのは縄文時代の特徴とされ、弥生時代のものが見つかるのは国内初。同センターは「縄文時代の精神文化を受け継いだ、南九州独特の埋葬と考えられる」としている。

土坑群は、60センチ×40センチの楕円形（A群）と規模不明のB群の2カ所。いずれも、周囲から約0.2〜0.5メートル盛上がった土地を囲むようにある。計30基以上ある土坑の大きさは、0.8×0.5メートル〜6.5×1.3メートル。深さは約0.7〜0.8メートルで長方形や方形が多い。墓のあ



る場所を掘り広げる「切り合い」が見られ、被葬者の親族も併せて葬ったと考えられる。

土坑付近からは、壊れた状態の皿や台付鉢形土器、壺形土器が出土した。また、B群には直径0.7メートルの柱穴が5基見つかったっており、建物があった可能性があら

同センターの寺原徹調査課長（左）は「弥生時代の墓の作り方は分かっていることが多く、今後の研究の指標になる」と期待を込めた。

2020年度から実施する県道改築事業に伴う発掘調査で見つかった。11日午後1時半〜3時、現地説明

会を開く。事前予約不要。（上植元大輔）

独自の暮らし 選んだ可能性

立塚遺跡（鹿児島市）で発掘された弥生時代早期の環状土坑群は、墓の可能性が高い。縄文から弥生に移り変わる時期の、南九州の人々の暮らしぶりを考察する重要な発見になりそうだ。

集落や列石を環状に配置するのは縄文時代の特徴とされる。一方、今回確認された長方形や方形、「切り合い」といった土坑の形状は、弥生文化が栄えた北部九州の遺跡とも共通点がある。専門家は「当時の南九州の人々は、弥生文化を取り入れた縄文の生活も続けていたのでは。自分たちの暮らし方を取捨選択した可能性がある」と指摘する。

弥生期の環状土坑墓群は国内初の発見。「最古」を塗り替えるものではないが、南九州の独特な暮らしぶりがうかがえる成果と言えよう。（上植元大輔）

令和4年11月5日（土）南日本新聞

令和4年度大隅地域社会教育委員連絡協議会総会・研修会
(兼人権教育ブロック別指導者研修会) 開催要項

1 日 時

令和4年6月2日(木) 13:00~16:00

2 場 所

末吉総合センター(曾於市末吉町諏訪方8127 起点:末吉 TEL 0986-76-7100)

3 出席者

各市町社会教育委員, 各市町教育委員会職員, 大隅教育事務所関係職員

4 日 程

受 付 12:50~13:30

【評議員会】※評議員のみ出席 13:00~13:30

準備・移動 13:30~13:40

【総 会】 13:40~14:20

(1) 開会のことば

(2) 開会のあいさつ 大隅地域社会教育委員連絡協議会会長

(3) 議長選出

(4) 協 議

ア 令和3年度事業報告

イ 令和3年度決算・監査報告

ウ 令和4年度事業計画(案)

エ 令和4年度予算(案)

オ 令和4年度以降の役員輪番(案)

カ 令和4年度役員(案)

キ その他

(5) 講話 「大隅地区社会教育行政の概要について」 大隅教育事務所 東 浩二 指導主事

(6) 閉会のことば

準 備 14:20~14:30

【研修会】〔人権教育ブロック別指導者研修会を兼ねる〕 14:30~16:00

(1) 開会のことば

(2) 講演

演題:「誇りをもって生きる」

講師:部落解放同盟鹿児島県連合会書記次長 宮内 礼治 氏

(3) 閉会のことば

1 講話の主な内容

- (1) 各市町社会教育委員の会議の取組
 - ア 委員数
 - イ 任期
 - ウ 年間の会議数
 - エ 現状と課題
- (2) 「社会教育委員の会議」取組例
平成 26～29 年度 講師の取組事例の紹介
- (3) 鹿児島県社会教育委員の会議「審議のまとめ」
添付資料：令和 2・3 年度「審議のまとめ」(概要版)
- (4) 令和 3 年度「鹿児島県社会教育・生涯学習の現状」より
 - ア 青少年教育・成人教育の実施状況
 - イ 社会教育関係団体
 - ウ 読書活動の実施状況・公立図書館の状況
 - エ 公民館等の状況
 - オ 地域と学校が連携・協働するための体制づくりの状況
 - カ 人権教育推進の状況
 - キ 家庭教育支援の現状



【講話の様子】

2 講演の要旨

演題 「誇りをもって生きる」

講師 部落解放同盟鹿児島県連合会

書記次長 宮内 礼治 氏

- (1) 内容
 - 父の職業である和太鼓製作に対する憧れ
 - 和太鼓製作に対する周囲の子どもたちの誤解とそれに端を発する差別
 - 正しい情報を伝え続けることで、小さな誤解やうわさ、差別が正されていくことの重要性
 - 和太鼓製作の実演と感動の広がり
- (2) 参加者の感想
 - 「誇りをもって生きる」・・・まさにそのとおりの生き方をされていることに感動いたしました。初めてこのような素晴らしい、分かりやすい人権問題に関する講演を聞きました。小さな誤解がやがて大きな誤解へ、それがとんでもない差別や人権問題へとつながっていくことが分かりました。自分の弱い心、差別の心に気付かされました。
 - あっという間の 90 分間でした。子どもたちへの学びの場をもとに、実演しながらのポイントを押さえたとても分かりやすい御講演でした。小さな誤解が大きな誤解を生む。小さな質問に小さく答えていく。そして、誤解を解いていく。その学びを止めないように、今後行動していきたいと思いました。宮内さん、素晴らしい御講演ありがとうございました。



【講演の様子】

令和4年度大隅地域自治公民館等経営研究会「研修会」

- 1 趣 旨 公民館関係者等が一堂に会し、協議及び講演を通して、これからの公民館活動の在り方について研修を深める。
- 2 主 催 大隅教育事務所
- 3 日 時 令和4年6月14日(火) 14:00～16:00
- 4 会 場 東串良町総合センター
- 5 研修テーマ 「地域の課題解決に向けたこれからの公民館活動」
- 6 参加人数 85人
- 7 研修1〔事例発表〕 「地域の特性を生かしたコミュニティ活動」

発表者：東串良町教育委員会社会教育課 課長補佐兼社会教育係長 原口 芳光
東串良町に自治公民館施設並びに組織がなかったため、町内各校区の団体組織の連携・協調を図り、各校区の活動を円滑に推進するとともに、青少年の健全育成に寄与することを目的に、平成23年度に次のコミュニティ協議会を設立した。

○ 池之原校区コミュニティ協議会〔池之原小学校区〕

○ 柏原校区コミュニティ協議会〔柏原小学校区〕

今回は、「柏原コミュニティ協議会」の概要及び活動実績について事例発表を行った。

(1) 概要

校区内各種団体間の連携や協力、学校との連携、青少年の健全育成や校区住民の生活環境整備等を行う「地域連携部」、町体育行事の校区内での連携や推進・協力、校区住民の健康保持増進活動を行う「保健体育部」で構成されている。

(2) 組織

役員：会長1人、副会長2人、事務局2人、監事2人

委員：各小・中学校の校長・教頭、各小・中学校のPTA会長、校区子ども会育成会代表、スポーツ推進委員、柏原校区内各振興会代表、民生委員、青年団員等 計14人

(3) 活動実績（抜粋）

近年は、新型コロナウイルス感染防止のため、活動内容を縮小又は中止している。



【サツマイモ植付け体験活動】



【十五夜綱引き・相撲大会】



【新春リレーマラソン大会】

【その他】

- ・ 柏原校区クリーン作戦
- ・ 高齢者お手紙交流作戦
- ・ 人権教室参観
- ・ ミニ門松作り・餅つき体験活動
- ・ 国指定史跡「唐仁大塚古墳」学習会

(4) 成果(○)と課題(▲)

○ 進んで挨拶のできる児童生徒が増えてきた。

▲ 参加者を集めるのに工夫が必要である。より参加しやすく、魅力ある活動や行事等となるよう内容を検討し、多くの方々に参加いただける活動を目指す。

8 研修2〔講義〕「みんなで考える防災」

講師：鹿児島県専門防災アドバイザー 井村 隆介 氏

講師の井村氏は、鹿児島大学共通教育センター准教授として勤務しながら、平成7年の兵庫県南部地震緊急研究調査をはじめとして、平成18年垂水市土砂災害調査、平成23年新燃岳噴火調査、平成23年東北地方太平洋沖地震調査などを行うとともに、過去の噴火、地震、津波、土砂災害歴史を研究し、出前講演や防災啓発、防災教育に関する活動に取り組んでおられる。

今回の研修会においても、調査等の活動の成果から、地域住民・行政等が災害時どう「命を守る行動」をすればよいか、しておくべきか、話をしていただいた。津波等による大規模災害も想定される志布志湾沿岸の本地域においても、ハード・ソフト両面から高めていく必要を感じた。



公民館活動を効果的に円滑に進めていくためには、地域の実態に即した組織をつくる必要がある。それは、地域住民による自治的活動の仕組みであり、住民の意思が十分反映され、住民が積極的に参加・協力しやすいものでなければならない。

今回、他公民館の活動・運営事例紹介や、公民館を災害時に一時避難所や復旧拠点としての利用を検討することなど、今後の公民館運営の参考となる有意義な研修会となった。

令和4年度 大隅地区教育メディア研修会

※1～10は実施要項

- 1 趣 旨 教育メディアに関する初歩的な知識や技術を修得し、教育活動において効果的に利用できるようにする。
- 2 主 催 大隅地区市町教育委員会（大隅地区市町で合同開催）
- 3 対 象 者 小・中・義務教育学校・高・特別支援学校教職員及び社会教育関係者
- 4 定 員 20人（新規採用教職員の課題研修による受講者を優先します。）
- 5 期 日 令和4年8月5日（金）（1日間）
- 6 会 場 鹿屋市市民交流センター（リナシティかのや）1階パソコン学習室
- 7 研修時間 5時間程度
- 8 日程及び研修内容

日	時 間	内 容	
8 月 5 日 ・ 金	10:00～10:15	受 付	出席確認、資料配布
	10:15～10:25	開 講 式	教育委員会あいさつ
	10:25～10:45	講 義①	鹿児島県視聴覚ライブラリーについて
	10:45～10:50	＜ 準 備 ＞	
	10:50～11:15	講 義②	情報モラル教育について
	11:15～12:00	講義・演習③	視聴覚教材の作成①（素材加工） ビデオカメラ撮影とビデオ編集ソフトの利用
	12:00～13:00	＜ 昼 食 ＞	
	13:00～14:00	講義・演習④	遠隔会議システムの活用
	14:00～14:10	＜ 休 憩 ＞	
	14:10～15:40	講義・演習⑤	視聴覚教材の作成②（コンテンツの結合） プレゼンテーションソフトを活用した教材作成
15:50～16:00	閉 講 式		

9 持参するもの

- 筆記用具、視聴覚教材作成のために必要な教科書、写真、パンフレット、各自作成したデータを持ち帰るためのUSB（ウイルスチェック済）等をご準備ください。
- 昼食は各自準備ください。

10 その他

研修内容は、指導者の都合等により変更する場合があります。

11 講師

かごしま県民大学中央センター 学習情報係 畠山 哲也 指導主事兼専門員
武田 恭輔 指導主事

12 受講生の感想

- 自宅待機の生徒に対し行う取組として、Zoomでの配信や録画した授業の提供を考えていたので、今回の研修でZoomのことやパワーポイントの録画について知ることができ、よい勉強となった。また、社会科を教えているので、視聴覚教材を今後活用していきたいと思った。自作教材作りも頑張りたい。
- 今回のメディア研修を通していろいろなことを学ぶことができた。Zoomのよさや使い方、そして何より研修最後のプレゼンテーションで参加された先生方の授業づくりの視点を知ることができた。教科は違ってもそれぞれで授業づくりのポイントが明確になっているので、子供たちが楽しく授業を受けている姿が想像できた。その点自分は、至らない所ばかりだと感じたので、今回の研修で学んだことを生かし、自分が伝えたい部分が伝わる、子供たちが主体的に学べるよう頑張っていきたい。
- 今回、大隅地区教育メディア研修会を受けて、Zoomやパワーポイントなどの具体的な操作について学ぶことができた。大学などでも使ったことがあるので、分かっているつもりだったが、初めて知ることも多く、とても学びのある研修だった。新学期から学んだことを生かして授業づくりをしていきたいと思う。
- これまで使用していたアプリなどについて、詳しく知ることができました。また、なかなか機器を使おうとしない私ですが、「ちょっと使ってみよう」という思いになりました。Zoomをもっと積極的に使おうと思います。今日は一日ありがとうございました。
- 普段、WordやExcelを使う程度で、自分で動画を撮って編集したり、パワーポイントでスライドを作成したりすることがあまりなかったので、とても勉強になりました。これから生かしていこうと思います。また、教材研究の際は、パワーポイントを使うよう心掛けて、少しずつ使い慣れていきたいと思います。ありがとうございました。
- 動画を編集したり、Zoomでブレイクアウトルームを体験したりするなど今まで体験したことがないことにチャレンジすることができました。新しいことや知らないことに日頃なかなか挑戦できないので、新しく学ぶ機会を頂けて嬉しいです。最後の教材作成では、他の方の作品や活用方法を見ることができ、とても参考になりました。講義中に使用したスライド資料が手元にあると、時間がなくて早く進んでしまった箇所も自宅で復習できるので助かるなあと感じました。素敵な機会をありがとうございました。



視聴覚教育は、学習内容の理解を助けたり、興味・関心を高めたり、学習意欲を向上させる効果が期待できるが、様々なメディアがあり、使用するために知識や技術が必要となる。

本研修は、教育メディアに関する初歩的な知識や技術を習得し、場面に応じて適切に使用できるようになることを目的として実施した。今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、人数に制限をかけて（14人以内）の開催となった。

参加者 13人…申込み8人（教職員7人・市教委1人）、
事務局2人、大隅教育事務所1人、講師2人

令和4年度肝属地区広域文化祭の取組

本年度は肝属地区広域文化祭の開催に替え、各地域で開催される文化祭に他地域の文化協会から団体を派遣し合うことで地域間の交流を図りました。

各地域の文化祭での出演状況

鹿屋市文化祭：10月30日（日）



藤間流藤朱会（垂水市文化協会）



松寿会（南大隅町文化協会）

錦江町文化祭：11月3日（木）



佐多フラダンス同好会（南大隅町文化協会）

輝北町文化祭：11月6日（日）



みっちゃん一家（串良町文化協会）

吾平町文化祭：11月6日（日）



鹿屋吟詠会（鹿屋市文化協会）



ボヌール（肝付町文化協会）

垂水市文化祭：11月6日（日）



智賀流聖隆会（鹿屋市文化協会）



英聖燐会（錦江町文化協会）

南大隅町文化祭：11月6日（日）



ジョイサウンズ（錦江町文化協会）



きもつき街の音楽室（肝付町文化協会）

肝付町文化祭：11月6日（日）



たるみず YOSAKOI 社中
桜輝楽（垂水市文化協会）



坂田兄弟
（串良町文化協会）



三鐘流洋円会
（串良町文化協会）

串良町文化祭：11月13日（日）



みんなの民謡教室（吾平町文化協会）



つばきグループ（輝北町文化協会）

令和4年度曾於地区ふるさとを興す組織・教育・食料・環境学習大会， 曾於地区ふるさとを興す保健・福祉学習大会開催要項

1 趣旨

曾於地区には、地域住民同士の結びつきや助け合いの精神が残っていることに加え、教育を大事にする伝統があり、人と人とのつながりや共生・協働の心を大切にしたふるさとづくりが推進されている。

このような中、曾於地区女性団体連絡協議会では、親や大人が自らの生き方を見つめ直し、知恵を出し合うための組織・教育・食料・環境学習大会及び住民が元気で安心して暮らせるしくみづくりのための保健・福祉学習大会に取り組んでいる。

本大会では、「地域が必要とする、地域になくてはならない組織」としての地域女性団体の役割や組織を見直し、女性の知恵と実践で地域の教育力を向上させ、真に住みよい地域社会を目指す方策について研究討議を行い、相互の研鑽を深める機会とする。

2 学習テーマ

「コロナ禍の今、いのちを守り、ちいきを守る女性パワー」～支えあう曾於の絆～

3 主催

鹿児島県地域女性団体連絡協議会 ・ 鹿児島県結核成人病予防婦人会

曾於地区地域女性団体連絡協議会 ・ 曾於地区結核成人病予防婦人会

共催

鹿児島県教育委員会 志布志市教育委員会 曾於市教育委員会 大隅教育事務所

後援

志布志市 曾於市 曾於地区教育振興会

4 期日

令和4年12月15日(木)

9月15日(木)から延期
して開催しました。

5 会場

末吉総合センター(曾於市末吉町諏訪方8127番地)



アトラクション曾於市音頭

6 参加者

各市町地域女性団体連絡協議会員 各市町結核成人病予防婦人会員 各種女性団体 校区・地区公民館
PTA会員 学校教育・社会教育関係者 関係行政機関の代表 教育・食料・保健・福祉に関心がある者等

7 日程

- (1) 受付・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13:00～13:30
- (2) アトラクション 曾於市・・・・・・・・・・・・・・・・13:30～13:45
- (3) 開会行事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13:45～14:00

ア『婦人会の歌』清聴

イ 開会のことば

ウ 開会のあいさつ

曾於地区地域女性団体連絡協議会長
鹿児島県地域女性団体連絡協議会長

神 崎 陽 子
伊 佐 幸 子

エ 祝 辞

曾於市教育委員会教育長
大隅教育事務所長

中 村 涼 一
山 元 卓 也

(4) 講 演 (保健福祉関係) 14 : 00 ~ 15 : 00

演 題 「私にできるがん対策～大切なあなたとあなたの大切な人を守るため」

講 師 たなか みお 先生
田中 未緒 先生

【公益財団法人鹿児島県民総合保健センター 健康増進部 保健師】



(5) 複十字シール事業説明 15 : 00 ~ 15 : 05

(6) 講 話 (教育分野) 15 : 10 ~ 15 : 50

演 題 「深く生きる」

講 師 ひがし こうじ 先生【大隅教育事務所指導課 指導主事】
東 浩二 先生



(7) 閉会行事 15 : 50 ~ 16 : 00

閉会のあいさつ

～ふるさとを興す大会を終えて～

3年ぶりの大会となり、志布志市・曾於市の地域女性団体連絡協議会の会員等157人が集まりました。田中先生の講演では、自分にできるがん対策について学び、早期検診の大切さを改めて確認しました。また、東先生の講話では、ご自身の体験談から心身の健康について考え、「自分以外の人のために、使える時間を増やしていくこと」や「長生きすることに意味があるのではなく、どれだけ深く生きるかが大切である」ことなどを学びました。【開催事務局】

令和4年度 肝属地区地域女性団体連絡協議会

総会・研修会

- 日 時 令和4年5月16日（月）10：00～11：15
- 場 所 大隅地域振興局 大会議室（別館2階）
- 参加者数 10人

《総会》 10：00～10：35

- 1 開会のことば
- 2 会長あいさつ
- 3 協議
 - (1) 令和3年度事業報告
 - (2) 令和3年度決算報告及び監査報告
 - (3) 令和4年度事業計画（案）
 - (4) 令和4年度予算（案）
 - (5) 規約改正について
 - (6) 役員改選について
 - (7) その他
- 4 閉会のことば



実態に即した事業計画(案)、規約改正、役員改選等について、熱心な討議がなされた。

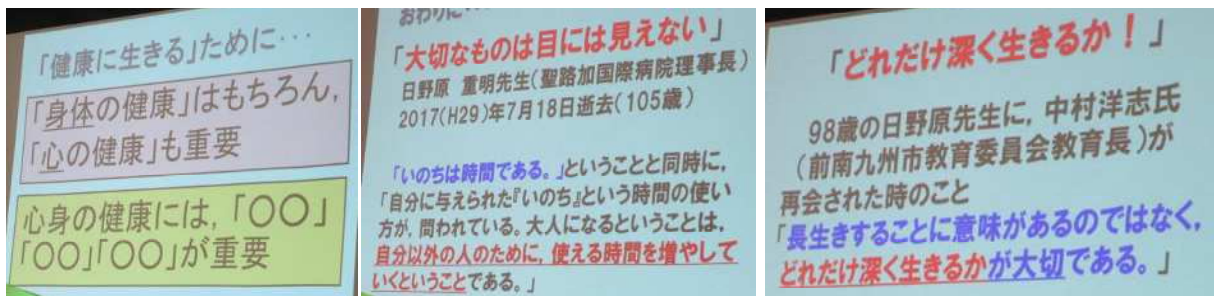
事業計画のうち、新型コロナウイルス感染症蔓延のため2年間中止となっていた管外研修は、感染状況を勘案しながら、3年ぶりに実施の方向で研修の希望先や内容等が話し合われ、多様な意見が出された。

《研修会》 10：35～11：15

- 1 開会のことば
- 2 協議
令和3年度活動の反省と令和4年度事業計画について（両市町より）
- 3 講話 「健康に生きる」
講師：大隅教育事務所指導課
指導主事 東 浩二 氏
- 4 閉会のことば
(講話内容)



自身の入院体験を基に、健康とは何かについて話をされた。身近な方の死に接し、死をより切実な問題として受け止めたことや人生の先達から受けた哲学などが語られた。講話後、「多くの方に聴いてほしい内容だった。」などの声が寄せられた。



令和4年度肝属地区地域女性団体連絡協議会研修会

- 1 趣 旨 鹿屋市・南大隅町の女性団体関係者が一堂に会し、研修や交流を通して視野を広げ、交友を深め、地域の女性活動の活性化を図る。
- 2 日 時 令和5年1月24日(火) ※当初予定は、10月27日(木)
- 3 研修先等 研修:都城市立図書館 都城島津邸 (宮崎県都城市)
昼食:M's KITCHEN 森の雫 (宮崎県北諸県郡三股町)
- 4 参加人数 19人(鹿屋市10人,南大隅町7人,大隅教育事務所2人)
- 5 研修先等の概要

(1) 都城市立図書館

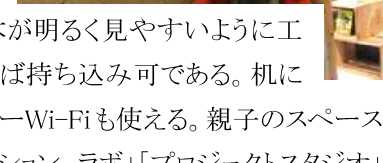
2018年4月にオープンした2階建ての建物で、2018年度のグッドデザイン賞を受賞している。

元々はショッピングモールで、向かい側には都城大丸百貨店があった。改装して図書館として使用している。エレベーターはそのまま使っている。蔵書は約30万冊。円形で吹き抜けの館内は明るくて見通しがいい。図書館が入居する複合施設「Mallmall」全体で、年間約200万人が集まる市中心地中核施設となっている。宮崎市や霧島市など都城市以外の来館者も多い。基本的には休館なしで9:00~21:00まで開館している。貸出し期間は2週間で、全国どこの方でも貸出しカードが作れる。

1階は落ち着いた雰囲気、壁は黒、絨毯は灰色である。

2階は様々な施設等があり、以下の特長がある。全般に子ども向けで明るい感じとなっている。雑誌は170タイトルあり、「静かな部屋」は、集中して取り組みたい方用で、音楽が流れないようにしてある。本棚の上の方には電気が付いているが、下で本を開いたときに本が明るく見やすいように工夫してある。飲み物は、ふた付きであれば持ち込み可である。机にコンセントがある所は、PCが使える。フリーWi-Fiも使える。親子のスペースは、カラフルな椅子があった。(大:親用,小:子供用)また、「ファッション ラボ」「プロジェクトスタジオ」という部屋や、昭和10年頃を平成8年に思い出して作った模型などもあり、多様な楽しみ方ができるように工夫してある。

運営は指定管理(民間の会社)で行っており、60人位で業務を回している。(週5日の人や週2日勤務の人もある。)掃除は専門に委託している。



(2) 都城島津邸《本宅》

広々とした敷地に、都城島津家の本宅や様々な建物、都城島津伝承館がある。明治時代以降、都城島津家当主の邸宅となり、数多くの歴史資料と豊かな自然が守られてきた。

美しい庭園と清楚な佇まいの都城島津家本宅には、都城島津家伝来の重要文化財「朝鮮国書」など、特に重要な史料や絵画(複製)が保存されている。また、昭和天皇皇后両陛下が御宿泊され、使用された部屋が当時のまま残され、その折供されたの御料理(模型)も展示してある。天皇皇后両陛下が民間の家屋に滞在されることは数えるほどしかないと言われ、皇后陛下と縁戚関係にあられたゆえの行幸であったと思われる。



(3) M's KITCHEN 森の雫(エムズキッチン もりのしずく)

2016年にオープンした、和洋折衷の創作料理店で、今回は、全員「雫ランチ」をいただいた。メインをチキン南蛮、えび南蛮、ハンバーグなど8種類から選べ、カルパッチョ、洋風茶碗蒸し、コーヒーにデザートなど、多彩な味をいただいた。



6 感想等

雫ランチメニュー・・・ゆったりと楽しみました。

(1) 感想

- ・ 久しぶりの研修会で、一日ゆったりバス旅行をして、おいしい食事をいただき、天気がよければ申し分のない研修会になったのだろうなと思いました。吾平からの参加が1人になってしまい、とても残念でした。たまには地域での研修もしたい。吾平の役員さんたちにも紹介したい都城での研修でした。
- ・ 初めての研修場所で、いろいろ勉強になりました。久しぶりの研修会に参加できよかったです。
- ・ 久しぶりの研修ができて(人数制限はありましたが)、よかったです。都城市立図書館を見学して、あんなスペースが広い所は他には無いような気がしました。ゆっくりと本を読めそうな所であり、うらやましいでした。(書籍がたくさんあり、くつろげる所も広がった。)島津邸は初めての見学で、ガイドさんの説明がとても分かりやすく、何となくではありますが、歴史のドラマとの兼ね合いが納得できました。
- ・ 都城図書館は、とても気楽な雰囲気よかったです。夫と一緒にいきたいです。島津邸も、鹿児島とのつながりにとても興味がありました。都城に、また家族で一緒に行きたいです。
- ・ 日程、研修場所、バス借用等、全てよかったです。都城へは買い物などで行くことが多いですが、図書館と島津邸へは初めて行ったので、とても勉強になりました。企画等、ありがとうございました。

(2) 来年度の研修先・内容の御希望

- ・ 鹿屋、肝属郡の史跡巡りをしたいです。
- ・ 研修日を11・12月頃にしてほしいです。

道の駅すえよし
では雪模様に！

